

[NEZOT に志願するようになった志望動機]

NEZOTのプログラマーを志望するクオン・ヘジと申します。

私は大学を卒業した後、日本関西国際空港でグラウンドスタッフとして勤務しました。空港、航空社と連携してコミュニケーションを取る業務に大きな満足を感じて熱心に 勤めましたが、コロナパンデミックによる長期欠航が益々長くなり再契約が難しくなりました。

帰国後は国立現代美術館（徳寿宮）で案内デスクの 仕事をしながら現場諮問団としても活動しました。この期間中には技術的な力量を上げるためバリスタの資格を取得し、美術館カフェ（複合文化空間）で短期間働くこともありました。

続いてMagpie&Tiger Tearoomで約3年間、副マネージャーとして働きました。

東アジアのお茶を紹介し関連プログラムを運営する、茶愛好家や外国人観光客など、様々なお客様が訪れる場所でした。

この期間「親切さ」が印象的だったという肯定的な評価を受け、勤務期間中4.88以上の高い Naver レビュー評点を維持しました。 社内でもCS関連で認められ、日本のインフルエンサーたちと協力して観光客を招待するイベントを担当したりもしました。

私はコロナパンデミック以後、日本の出入国システムが「ビジットジャパン(Visit Japan Web)」でデジタル化されたことを見てIT産業に関心を持つようになりました。 手間が掛かった出入国書類作業を一つのウェブプラットフォームに統合し、出入国管理が便利になり、時間も短縮されました。 ITがシステムの不便を解消し、効率性を最大化する強力な分野だということを認識したきっかけでした。

このようなIT技術の無限な適用可能性は有望であると感じ、ウェブデザイン(パブリッシャー)、フロントエンドの基礎を学ぶ授業を通じて、実質的に活用できる機能と少しずつ言語に対する理解度を育てています。 技術をはじめ、問題の本質を把握し、快適なユーザーエクスペリエンスを設計できる開発者になるため努力しています。

非専攻者だからこそもっと誠実に臨んでいます。 責任感を持って、最後の課題であるチームプロジェクトまで仕上げるため努力しております。

これからもっと成長し続ける姿をお見せしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

[日本で働きたい理由]

日本で働きたい最大の理由は韓国より広い採用機会と自分を成長させるメリットを感じたからです。

現在、日本はNEZOTをはじめ、多くの会社で独自のシステム開発のための内在化戦略を取り、プログラマーに対する需要が高まりました。韓国の場合、少数の企業を除けば採用数が少ないですが、日本では力量のある新入にも幅広い機会を提供しています。

また、日本は韓国に比べてIT技術を通じてイノベーションを創出できる未開拓市場が大きいです。NEZOTのご挨拶のように、「これまで仕方がないとされてきたサービスの不便や不合理」を解決する作業、レガシーシステムを革新するDXプロジェクトが日本産業全般にわたって進められています。

このような環境で「doconico」、「ドコ1」のような使いやすく優れたプラットフォームを直接構築し、運営する経験を通じてテクニカルスキルを大きく成長させる機会を持ちたいです。

また、初めての職場を日本に行けるようになりましたが、新入研修が終わってからすぐコロナパンデミックが始まり、会社員として知りたかった内容をあまり学べなくなってしまって残念でした。

そのため、技術的な力量を育てて再度日本で働きたいと思っています。

特に、貴社の所在地の神戸市には2015年度日本語日本文化体験研修で訪問したことがあります。姉妹校の甲南女子大学の学生たちと交流しながら、宝塚歌劇の殿堂、手塚治虫記念館、北野異人館街など様々な場所を訪れました。韓国に帰るのが惜しいほど、いい思い出に満ちた地域だったのでここで働きたいと強く思うようになりました。

[NEZOTに志願するようになった志望動機]

私は、テクノロジーを通じて非効率性を解消し、最適な仕組みを作ることことに貢献したいと考えています。

空港で働く時、チェックインプログラムを利用してパスポート情報を入力するコーディングと似た作業をしたことがあります。これにより、入国時ケアが必要な乳幼児、障害者など顧客の情報をやり取りすることができました。そして、効率性、安全、肯定的な顧客満足度につながりました。

NEZOTの「これまで仕方がないとされてきたサービスの不便や不合理を、ITの力で解消し、よりよいサービスや仕組みを作り出したい」という哲学は、私が職業人として夢見る価値と一致すると感じ、強く共感しています。

貴社がこのようなITサービスを積極的に遂行しているという点で深い印象を受けました。私も問題を効率的に解決し、顧客満足を引き出す過程に寄与したいと、そして共に成長したいと思います。

プログラマーとしてまだ未熟ですが、実務能力を確保するために現在、「生成型 AI(ステーブルディフュージョン)活用モダンウェブ(Figma、React、Redux)実務者育成」課程を履修しています。

HTML、CSS、JavaScriptのような基本的なウェブ開発をはじめ、ユーザーが直感的、効率的にシステムを使用できるように、ReactとReduxを活用した反応型ウェブ開発に集中しています。

IT技術を通じてサービス構造の変革を進めるNEZOTの挑戦的なビジョンにご一緒したいです。

[プログラム開発経験（資格、経験、学習方法、実際のスキルを使った経験）]

履修中のK-デジタルトレーニング(政府支援)「生成型 AI(ステーブルディフュージョン)活用モダンウェブ実務者育成」授業では、3ヶ月間HTML5&CSS、javascript&Jquery、React.js、Redux、TypeScript、Figmaを正規の教科にして、BootStrap、GitHubのような副次的な教科も教育します。最終課題は チームプロジェクトで作業します。

現在、チームプロジェクトの初期段階を進行しており、授業の課題で構成されたポートフォリオのurlを添付いたします。（Reactで製作）

機会があればもっと発展した姿をお見せしたいと思います。

[その他アピールしたい部分 - 学習計画]

チームプロジェクトを通じて、これまで学んだ内容を活用して深化学習する計画です。

技術的な側面では、Reactをベースでプロジェクトを進め、次のような技術を深く学習します。

- ReactRouterを活用した効率的なルーティング及びページ管理。
- Axiosなどを利用したAPI連動とデータ処理。
- Reduxなどのライブラリを活用した全域ステータス管理技術。
- Hooksを活用した関数型コンポーネントの深層的理解と活用。

特に今回のプロジェクトではCSS技術を集中的に強化しようと思います。単純に機能を具現するだけでなく、反応型ウェブデザインを適用してUI/UX完成度を高めることに寄与します。

チーム協業はGitHubを活用します。実際の現業と類似した共有作業管理プロセスを身につけることを目指しています。

個人の成長とともに体系的な協業を通じたチームワーク成長と成功的なプロジェクト完成を目標にしています。